

平成30年10月4日

全国の信用金庫役職員等から寄せられた 見舞金を平成30年7月豪雨の被災地へ寄贈

一般社団法人全国信用金庫協会

このたびの平成30年7月豪雨により被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

一般社団法人全国信用金庫協会（会長：佐藤浩二・多摩信用金庫会長）では、全国の信用金庫および関係団体等の役職員約11万人に呼びかけ、「平成30年7月豪雨救援千円募金」を実施いたしました。その結果、1億4,300万円の善意が寄せられました。

今回寄せられた募金は、被災地域の信用金庫および地方公共団体へのお見舞金として順次寄贈し、被災地域の方々の支援活動に役立てていただくこととしております。

相互扶助を経営理念とし、地域とともに歩む私ども信用金庫業界では、平成30年7月豪雨で被災された方々のために、全国の皆さまからの義援金のお取扱いをはじめ、様々な支援活動に取り組んでおります。今回の募金活動も、信用金庫業界の役職員一同が、被災地域の日も早い復旧、復興を願い、被災地域の方々を支援させていただくために実施したものです。

今後とも、地域の皆さまや中小企業のために、全力を尽くして参る所存ですので、信用金庫に対するご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

【信用金庫業界役職員「平成30年7月豪雨救援千円募金」の概要】

- 対象者・・・全国261の信用金庫、関係団体等の全役職員（約11万人）
- 総額・・・1億4,300万円（募金額 一口千円）
- 寄贈先・・・被災地域の信用金庫（京都北都信用金庫、中兵庫信用金庫、吉備信用金庫、広島信用金庫、呉信用金庫、しまなみ信用金庫、愛媛信用金庫、宇和島信用金庫、幡多信用金庫、飯塚信用金庫）および地方公共団体（岐阜県、京都府、兵庫県、島根県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、福岡県）に寄贈

以上

本件に関する問合せ先

- 総務部 石田、今泉 （電話：03-3517-5711）
- 広報部 小曾根、自在丸 （電話：03-3517-5722）